

庁舎建設シンポジウムを開催しました

8月17日(土)、県周南総合庁舎さくらホールにおいて、庁舎建設シンポジウムを開催しました。約320人が参加し、これからの庁舎のあるべき姿を考えました。



■パネルディスカッション

続いて、庁舎を利用する立場の人、建築の専門家、学識経験者、並びに市長をパネリストとして、これからの庁舎のあり方をテーマに公開討論を行いました。

■パネルディスカッションでの主な意見

- ▼コンパクトで機能的な庁舎であるべき。
- ▼ユニバーサルデザインに配慮し、高齢者や子育て中の人も、誰もが利用しやすい庁舎に。
- ▼いろいろな手続きをワンストップ・ワンフロアで行えるように改善を。
- ▼まちのシンボルロードである岐山通りと一体で、心地よい街並みをつくっていく視点が大切。
- ▼本庁舎への集約化により、周辺部の行政サービスの低下がないよう配慮を。

■基本構想説明

はじめに、市から、現在までの取り組み状況や、本年3月に策定した「庁舎建設基本構想」の概要について説明しました。



「庁舎建設基本構想」における庁舎整備の基本方針は次の3点です。

■早急に整備します

低い耐震性の解消が急がれること、合併特例債の活用期限が平成30年度であることから、早急に整備します。

■全面建て替えます

耐震改修では、段差などの解消はできませんし、庁舎は分散したままで、市民サービスの向上につながりません。また、改修しても建物の耐用年数が大幅に延びることはありませんので、近い将来、改めて建て替えるが必要となります。

■現本庁舎敷地に整備します

早急な整備が必要ことから、市の所有地であることが前提となります。現在の場所は、公共交通機関のアクセスに優れ、他の官公署との連携が図りやすく、また、まちづくりの拠点として市民が集いやすい

場所であり、庁舎の場所として最適です。

※市広報8月1日号にも、詳しく掲載していますので、併せて見てください。

■基調講演

- 次に、最近の新庁舎の設計についてと題して、若林亮さん(日建設計・建築家に講演していただきました。新しい市庁舎を造るための「5つの視点」について提言がありました。
- 大地震後も、災害指令拠点となり得る強さ・機能を持つこと
 - 地球環境にやさしく、光熱水費を削減する庁舎であること
 - 誰もが当たり前に利用できる、ストレスを感じない庁舎であること
 - 市民サービスはもちろん、行政活動・運営が向上する庁舎であること
 - 市民の心の中でシンボル、要となる庁舎であること

▼市長

庁舎整備に伴い本庁機能は集約しますが、総合支所・支所の機能は残します。また、本庁と総合支所・支所との連携・支援体制の強化により、意思決定の迅速化や市民サービスの向上につなげます。

▼財政面

心配はないのか。

▼市長

庁舎建設基金を計画的に積み立てるとともに、合併特例債を活用します。基金は今年度末で11億円、建設時までに20億円を積み立てたいと考えています。合併特例債の元利償還金は、7割が国から交付されますので、市の実質負担は3割です。仮に、60億円を借入れた場合、市の実質負担は利息を含めて20年間で21億円、1年当たり約1億円です。一方、新庁舎の建設により、維持管理費や職員移動コストなどが、年間5千万円以上

削減される見込みです。
▼市民にきちんとわかりやすく説明し、市民の意見をしっかりと聞きながら進めてほしい。

■意見交換

最後に、来場者とパネリストとの意見交換を行いました。

■意見交換で出された主な意見・質問と市の考え方

- ▼ハード面(建物)だけでなく、ソフト面(職員の対応など)の改善に、合わせて取り組んでほしい。
- ▼観光交流を促進するため、情報発信コーナーを充実してほしい。
- ▼建物を造るだけでなく、組織をどうするかということも検討してほしい。
- ▼全ての人が利用しやすい庁舎にし

てほしい。また、行政手続きなどをワンストップで行えるようにしてほしい。

■市の考え方

- 各意見の内容を踏まえ、機能的で誰もが利用しやすい市役所の整備に向けて、ハード・ソフト両面から検討します。
- ▼防災の観点から建設場所を、周南緑地公園に隣接する旧自動車学校跡地にしてほしいか。
 - ▼市の考え方 意見の場所も含め、市有地の中から検討し、前述のとおり、防災の観点のみならず諸条件を総合的に勘案し、現在の場所を最適地と判断しました。
 - ▼「庁舎建設基本計画策定業務」の業者選定に問題はないのか。また、この業者は国土交通省から指名停止を受けているのではないか。
 - ▼市の考え方 業者選定には、公募



■新しい庁舎についてみんなで考えよう！

今後も市民の皆さんの意見を聞きながら、知恵を結集して、本市にふさわしい親しみのある庁舎の実現に取り組んでいきます。

職員が訪問して本市の考え方を説明し、意見交換を行う出前トークも、引き続き実施していきますので、ぜひ活用してください。

シンポジウムの様子を紹介します

庁舎建設シンポジウム 放映日程

9月16日(月・祝)～30日(月)

- シティーケーブル周南(11チャンネル)…6時～、11時～、24時～
- Kビジョン(デジタル123チャンネル)…6時～、11時～、24時～
- メディアリンク(アナログ5チャンネル・デジタル12チャンネル)…7時20分～、14時20分～、21時20分～
- 岐北テレビ(12チャンネル)…6時20分～、12時20分～、19時50分～、23時20分～

当日の議事録および頂いた意見・質問に対する市の考え方の詳細を、本庁および総合支所の情報公開窓口、各支所で閲覧できます。市ホームページでも公開しています。



問合せ 総務課庁舎建設準備室
☎0834-22-8221 図08
34-22-8266 ㊟choshna@city.shunan.lg.jp